

|               | 福島県   |       | 県中地域  |         |       |         | 須賀川・岩瀬地区 |         |       |         | 石川地区  |         |       |         | 田村地区  |         |       |         |
|---------------|-------|-------|-------|---------|-------|---------|----------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|
|               | 第20週  | 第19週  | 第20週  |         | 第19週  |         | 第20週     |         | 第19週  |         | 第20週  |         | 第19週  |         | 第20週  |         | 第19週  |         |
|               | 感染症動向 | 感染症動向 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 | 感染症動向    | 学校欠席者情報 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 | 感染症動向 | 学校欠席者情報 |
| インフルエンザ       | 86    | 84    | 7     | 12      | 11    | 10      | 5        | 1       | 4     | 2       | 0     | 6       | 0     | 3       | 2     | 5       | 7     | 5       |
| 咽頭結膜熱         | 47    | 33    | 2     | 0       | 1     | 0       | 1        | 0       | 1     | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       | 1     | 0       | 0     | 0       |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 138   | 116   | 15    | 0       | 9     | 1       | 10       | 0       | 5     | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       | 5     | 0       | 4     | 1       |
| 感染性胃腸炎        | 321   | 299   | 71    | 32      | 64    | 26      | 65       | 12      | 57    | 14      | 0     | 4       | 0     | 6       | 6     | 16      | 7     | 6       |
| 水痘            | 10    | 14    | 0     | 0       | 2     | 2       | 0        | 0       | 2     | 2       | 0     | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       |
| 手足口病          | 12    | 15    | 1     | 0       | 0     | 0       | 1        | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       |
| 伝染性紅斑         | 6     | 7     | 0     | 0       | 0     | 0       | 0        | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       |
| 突発性発疹         | 39    | 35    | 6     | 0       | 6     | 0       | 5        | 0       | 3     | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       | 1     | 0       | 3     | 0       |
| ヘルパンギーナ       | 0     | 0     | 0     | 0       | 0     | 0       | 0        | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       | 0     | 0       |
| 流行性耳下腺炎       | 9     | 16    | 3     | 3       | 3     | 3       | 1        | 2       | 2     | 0       | 0     | 0       | 1     | 2       | 2     | 1       | 0     | 1       |
| RSウイルス感染症     | 45    | 33    | 3     | 2       | 6     | 2       | 2        | 1       | 6     | 1       | 0     | 1       | 0     | 1       | 1     | 0       | 0     | 0       |
| 急性出血性結膜炎      | 0     | 0     | 0     | 0       | 0     | 0       | 0        | 0       | 0     | 0       | /     | 0       | /     | 0       | /     | 0       | /     | 0       |
| 流行性角結膜炎       | 22    | 25    | 1     | 5       | 0     | 10      | 1        | 5       | 0     | 8       | /     | 0       | /     | 0       | /     | 0       | /     | 2       |

※平成30年1月1日より百日咳が全数把握疾患となりました。また、風しんの届出が「診断後7日以内」から「診断後直ちに」と変更になりました。  
 ※平成30年5月1日より急性弛緩性麻痺が全数把握疾患となりました。

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

**県中地域の状況**

＜RSウイルス感染症の小流行が続いています＞

RSウイルスを病原体とする乳幼児に多く認められる急性呼吸器感染症です。症状としては発熱、鼻水などの上気道症状が出現し20～30%で気管支炎や肺炎などの下気道症状が出現します。感染系とは飛沫感染、接触感染です。

＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の小流行が見られます＞

A群レンサ球菌による上気道の感染症です。菌の侵入部位や組織によって多彩な臨床症状を引き起こします。感染経路は飛沫感染、接触感染です。

＜感染性胃腸炎の小流行が見られます＞

食品や飲料水をとおり傾向的に細菌、ウイルスなどの病原体が腸に感染してさまざまな消化器症状を引き起こす病気です。よく知られているノロウイルスは感染性が強く、患者の便や吐物、ウイルスに汚染された食品を介して感染が拡大していきます。感染を広げないためにおむつの適切な処理、手洗いの徹底が必要です。アルコールなどの消毒液ではあまり効果がありません。衣類が便や吐物で汚染されたときは次亜塩素酸ナトリウム(家庭用塩素系漂白剤)でつけおき消毒した後、他の衣類と分けて洗濯しましょう。

＜流行性耳下腺炎の小流行が見られます＞

ムンプスウイルスによる感染症で、一般には「おたふく風邪」として知られています。突然の発熱、両側あるいは片側の耳の下の腫れと痛みが起こります。通常1～2週間で軽快します。感染経路は飛沫感染、接触感染です。

※飛沫感染：患者の咳やくしゃみのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことで感染します。マスクの着用や咳エチケットを実施してください。

※接触感染：細菌が付着した手で口や鼻に触れることで感染します。手洗い、うがい、頻繁に人が触れる場所(ドアノブ等)についての環境整備など基本的な対策を徹底することが必要です。

**6月1日～7日はHIV検査普及週間です**



平成29年のHIV感染者・エイズ患者新規報告数(速報値)1,407件です。特に診断時に既にエイズを発症している割合が約3割と依然として高い水準です。

治療法の進歩により、HIV陽性者の予後が改善された結果、HIV陽性者は感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぐことができ、HIVに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。

HIV/エイズについて正しい情報を知り、行動に繋がっていきましょう。

**保健所の検査は無料・匿名です**

HIVに感染しているかどうかは、検査を受けるまで分かりません。不安なことがある場合には検査を受けましょう。

\*エイズ相談・検査予約ダイヤル

TEL 0248-75-4338(受付時間 平日 8:30～17:15)

\*検査日 ※要予約

毎週火曜日(即日検査) 9:00～11:00

第1・3火曜日(夜間) 17:30～19:30